

復興事業の諸相

東京の震災復興については、当初、帝都復興院によって横浜の復興も含めて10億円にのぼる大規模な計画が策定されました。

しかしその計画は帝都復興審議会や衆議院の審議を経て、帝都復興院の廃止とともに、予算を4億6千万円余りに削減され、大幅な縮小を余儀なくされます。

それでも内務省外局に改組された復興局と東京市の連携により事業は着実に進展し、昭和通りや大正通り等の幹線道路整備、焼失地域全体に及ぶ区画整理事業、鉄筋コンクリート建てによる市立小学校の整備等、世界にも類を見ない大規模な復興事業が実施されていきました。

ここでは、復興事業が一段落した昭和5年(1930)に東京市が発行した『帝都復興事業図表』を中心にその内容をご紹介します。この刊行物には、震災被害とそこからの復興の状況が豊富な統計データとわかりやすい表・グラフで表現されています。